# 京街道宿場おすすめスポット〔その弐〕

## 淀　宿

### 淀城跡 P.7

淀城は徳川2代将軍秀忠が築城を命じ寛永2年(1625)に竣工しました。慶応4年(1868)1月の鳥羽伏見の戦いにおいて、鳥羽と伏見でも敗北した旧幕府軍は、現職の老中でもあった稲葉氏の淀藩を頼って、淀城に入り戦況の立て直しをはかろうとしました。しかし、淀藩は朝廷や官軍と戦う意思がなく、城門を閉じ旧幕府軍の入城を拒んだため、旧幕府軍は男山・橋本方面へ撤退しました。淀城下では戦闘こそありませんでしたが、このとき放火されて城と城下の大半を焼失しました。

### 妙教寺 P.7

寛永3年(1626)、豊臣秀吉の側室淀殿が住んでいたと伝わる淀古城下の一角に建立された法華宗真門流の寺。寺地は新しい淀の城主松平定綱から寄進を受けました。慶応4年(1868)の鳥羽伏見の戦いでは周辺が戦場となり、本堂の壁、柱を砲弾が貫通し、その跡と砲弾が保存されています。境内には淀古城跡の碑や榎本武揚揮毫の戊辰之役東軍戦死者招魂碑などがあります。

### 與杼(よど)神社 P.7

社伝によれば応和年間(961～964)に肥前国の淀大明神を勧請して建立したといわれる歴史ある神社です。当初は桂川の水上運輸の守護神でしたが、明治33年(1900)桂川改修のため、現在地に移設されました。拝殿は慶長12年(1607)に建造されたもので、国の重要文化財です。

### 京都競馬場 P.8

明治40年(1907)に組織された京都競馬会が、翌年に設立された島原競馬場で競馬を開催したことから始まっており、大正2年(1913)に京都府船井郡須知町へ移転し、大正14年(1925)に現在の地に京都競馬場が開設されました。京都競馬場の馬場の中央にある池は、かつての巨椋池の名残りと考えられています。

営業時間：開催日9時～17時
入場料：開催日200円(開催日以外は無料)

## 伏見宿

### 寺田屋 P.8

坂本龍馬が襲撃を受けたことで知られる寺田屋は、伏見の旅籠の一つでした。内部には幕末の史料が展示されており、没後150年以上経った今もファンの聖地となっています。また、庭園には寺田屋騒動で戦死した倒幕派薩摩藩士の石碑のほか、坂本龍馬など幕末に関係する碑があります。

拝観・開館時間：10時～15時40分(受付終了)
定休日：月曜不定休あり、年始1/1～3

### キザクラカッパカントリー P.8

カッパのキャラクターでおなじみ、黄桜株式会社の複合施設。酒造りの歴史を語る「黄桜記念館」はもちろん、京都の地ビールの先駆けとなった同社のビールが味わえる「黄桜酒場」や、限定のお酒やグッズの買える「黄桜商店」があります。敷地内には酒の仕込みにも用いられる「伏水(ふしみず)」が今も昔も湧き出ています。

開館時間：黄桜記念館10時～16時、黄桜商店10時～20時、黄桜酒場 昼食11時30分～14時30分(土日祝は11時～) 夕食17時～21時30分、定休日：火曜日(祝日は除く)年末年始(12月31日・1月1日)

### 近藤勇遭難の地 P.9

慶応3年(1867)12月18日、伏見奉行所に陣を移した新選組の隊長 近藤勇は京都町奉行所の若年寄 永井玄蕃頭との軍議のため、二条城に赴きました。この頃、幕府軍と薩摩長州軍との間に緊張関係があり、近藤は護衛約20名を伴っていましたが、帰り道の伏見街道が屈曲する墨染通り付近で狙撃されました。弾は左肩に命中しましたが、そのまま馬を走らせて伏見奉行所に逃げ込みました。近藤は治療のため大坂に退き、鳥羽伏見の戦いに参戦することができませんでした。

### 月桂冠大倉記念館 P.8

酒造りや月桂冠の歴史をわかりやすく紹介する酒の博物館。昔の酒造用具を工程に従って観覧でき、様々なお酒の試飲もできます。一帯は酒どころ伏見を象徴する白壁土蔵の酒蔵が建ち並び、本場の酒造りの雰囲気と自然に恵まれた昔ながらの風情が楽しめます。

開館時間：9時30分～16時30分(受付は16時まで)
入館料：600円(大人)
休館日：盆(8月13日から8月16日まで)、年末年始

道標(みちしるべ) 道の分岐点に建つ道しるべ。旅人が自分の歩む道を確かめる大きな手掛かりだった。

# 京街道宿場おすすめスポット〔その参〕

## 大津宿

### 琵琶湖汽船 P.11

琵琶湖汽船は、大津～長浜間の鉄道連絡船を運航していた太湖汽船と南湖地区を運航していた湖南汽船をルーツに持ちます。鉄道網の整備により、その後は「近江八景めぐり」「竹生島めぐり」といった観光遊覧に移行します。現在は、古き良き米国を彷彿させる外輪船ミシガンが南湖を遊覧し、竹生島をめぐるクルーズ船が長浜、今津から運航しています。

### 三井寺 P.11

天台寺門宗の総本山。境内に天智・天武・持統の三天皇の御産湯に用いられたとされる霊泉(井戸)があることから、「御井(みい)の寺」と称され、のちに「三井寺」と通称されるようになりました。国宝の金堂をはじめ、観音堂、釈迦堂など多くの堂舎が建ち並び、国宝・重要文化財は100余点を数えます。

### 関蝉丸神社下社(せきせみまるじんじゃ) P.11

蝉丸大神と豊玉姫命を祀っており、蝉丸大神は音曲を始めとする諸芸道の祖神、豊玉姫命は琵琶湖の守護神・水神として信仰されています。社伝によれば創祀は天慶9年(946)で、主祭神の蝉丸大神が音曲芸道の祖神と仰がれたことから諸芸能を生業とする人々に崇敬され、それら人々の興業には当神社による免許が必要とされたと言われています。

### 大津祭曳山(ひきやま)展示館 P.11

湖国三大祭のひとつ「大津祭」を、あらゆる角度から紹介する展示館です。館内では原寸大の曳山模型を中心に、町家の町並みを再現。大画面によるお祭りの映像やお囃子体験コーナーで、お祭りムードがたっぷり味わえます。また全13基の曳山のからくり映像や、実物の幕・彫刻などの飾りの展示も必見です。

開館時間：9時～18時(最終入館17時30分)
休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始

## 京阪電車路線図

京阪沿線おでかけ情報サイト
www.okeihan.net